文京区立千駄木小学校　令和５年度　学校経営計画（概要版）

文京区教育ビジョン

個が輝き共に生きる文京の教育

文京区教育委員会教育目標

○心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
○自ら学び考え、表現し行動する人
○社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
○地域を愛し、共に生きる社会を築く人

千駄木小学校　教育目標　　自立・友愛の精神に満ち、気迫と品格のある千駄木小の子どもを育成する。

◎深く考え正しく判断する子ども　◎心豊かで思いやりのある子ども　○礼儀正しく節度のある子ども
◎健康でたくましい子ども　○勤労を尊び助け合う子ども

経営理念

○品格のある千駄木小の子どもを育てる教育の実現　　○３つのワーク（チームワーク・ネットワーク・フットワーク）で常に一歩前を

目指す理想像

目指す学校像　「保護者・地域の皆様とともに子どもを育てる学校」　「明日（の学習、の学校生活）が楽しみになる学校」

目指す児童像

「自立・友愛の精神に満ち、気迫と品格のある子ども」
「目標をもって一生懸命に取り組み、周りの人への思いやりをもった言動ができ、千駄木小学校の子どもであるという誇り（プライド）をもてる子ども」

目指す教師像

「子どものよさや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師」
「千駄木小学校の教員であるという自覚と誇りをもって職務にあたり、ともに高め合い、学校の課題解決に協力して尽力する教師」

４　教育活動の目標と方策

（１）　学習指導　　深く考え正しく判断できる子供の育成

基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成

・「千駄木スタンダード」に基づく全教員の共通理解をもとにした学習習慣・学習規律の指導
・タブレットを活用した学習活動の充実と家庭学習と連携させた学習活動
・学年で統一した家庭学習の確実な実施
・５・６年生の教科担任制による指導体制
・金曜日の朝に「対話タイム」を実施。
・金曜日放課後に「質問教室」の実施
・月曜日の朝に、保護者による読み聞かせ又は朝読書の実施
・各教科の指導内容に関連した読書活動の実施
・読書習慣を身に付けさせるための取組
・図書支援員との協力
・図書委員会の子どもたちの取組の活性化

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

・「対話を取り入れた授業」の効果的な取組
・タブレットを活用した考えの交流活動の充実
・児童が主体的に取り組む学級活動、委員会活動、クラブ活動
・ＭＩＭの日常的な活用
・プレゼンテーション能力向上の取組の継続
・教員の授業参観、指導技術向上
・学力調査等の結果、児童による授業評価、学校生活振り返りアンケートを基にした児童理解及び授業改善

健康でたくましい子どもの育成（体力向上）

・体力向上につながる「縄跳び週間」「大縄週間」「マラソン月間」の実施
・記録の伸長を確認できる学習カードの活用
・体力アップトレーナーを活用した体育授業及び保健指導の充実
・がん教育の実施

（２）生活指導・特別支援教育　　心豊かで思いやりのある子供の育成

自分のよさを発見させる

・互いのよさを認め合う活動の月１回以上実施
・「いいとこみつけ週間」を「いのちと人権を考える月間」と関連させて、５月・１２月に実施
・意図的・計画的によさを引き出す活動の設定
・５・６年生の教科担任制による指導体制
・各学期の学校生活振り返りアンケートにより今学期の努力の成果と課題を自覚させ、次の学期の目標設定及び課題解決を考えさせる。

友達とよりよい関係を築く

・「ふれあい月間」に心のアンケート及び担任等による個別面接を行い、問題があれば解決につなげる。
・弁護士によいじめ防止授業（５・６年）、年間３回のいじめ防止授業の実施
・コミュニケーションスキルトレーニング、アンガーマネジメントの学習を実施し、コミュニケーション不足によるトラブルの解決能力を高める。
・授業中に友達のよさを認める発言を促す時間を設定する。

一人一人を大切にした学級、子どもの居場所がある学級づくり

・年度当初、学級開き研修及び千駄木スタンダード研修を実施し、児童と教員、児童と児童の出会いをよいものと感じ、みんなで学級を作っていこうとする気持ちを引き出す。
・３・４・５・６年生を対象にHyperＱＵを実施し、心のバランスや学級への所属意識を把握し、自分の居場所だと感じられる学級経営の充実・改善

互いのよさや違いを認め、高めあう児童の育成

・「千駄木スタンダード」「千駄木の決まり」に基づいた同じ方向での生活指導
・「いつでも、どこでも、だれにでも」伝わるように挨拶するという指導
・「挨拶・廊下歩行・言葉遣い」を重点とする基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成

個に配慮した指導の実現・特別支援教育の充実

・特性を把握し、特性に応じた指導による落ち着いて学ぶ環境の構築
・見通しをもって過ごすことができるための手だて、視覚・聴覚刺激への反応を減らすための教室配置などの工夫
・ユニバーサルデザインを活用した学習環境づくり
・特別支援教育研修の実施
・巡回指導教員による研修、配慮が必要な児童の対応への臨床心理士等からの助言

不登校及び登校渋りへの支援

・個別の状況を丁寧に把握し、児童に応じた支援体制の構築を図る。（ステップルームの設置、など）
・不登校や感染症予防などのために登校できない児童への支援

（３）特色ある教育活動　　自分のよさや可能性を認識するとともに，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，多様な人々と協働しながらＳＤＧ‘ｓの視点を大切に、様々な社会的変化を乗り越える

オリンピック・パラリンピック教育及び日本の伝統・文化理解の教育の充実

・障害者スポーツ等への理解、福祉への目覚め、ボランティア活動への意欲の高揚
・地域を活用した伝統文化の継承につながる学習活動の段階的な実施

秋田県美郷町立仙南小との交流の充実

３年　社会・総合
４年　国語
５年　仙南小訪問・千駄木小訪問

保幼小中連携（円滑な接続を図り、校種をこえた連続性のある教育の実現）

・小中連携教育モデル事業校として取り組んできた、児童会・生徒会の交流、プレゼンテーション能力向上の実施、課外活動から部活動への連続化、中学校教員による出前授業、小学校と中学校の連携による読書活動の充実を定着させる。
・４校園合同の教員研修や授業参観の実施　・年長児保護者会への参加による広報活動
・スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムの実施と見直し　・園児との交流、中学生との交流

高齢者理解学習

３年　ふれあい交流
４年　高齢者体験
５年　認知症理解

（４）学校運営・その他

コミュニティスクールとして、地域に開かれた教育課程の実現　学校評価を活用した学校運営の PDCA の確立
保護者と連携・協力した教育活動の実施　地域とのＷｉｎ－Ｗｉｎの関係の形成

５　教職員の指導力向上

胸を張って子どもの前に立てる教職員であり続ける。　組織的な学校運営への参画